



អបអរសាទរ
ព្រះរាជពិធីបុណ្យចម្រើនព្រះជន្ម
សម្តេចព្រះមហាក្សត្រី នរោត្តម មុនីនាថ សីហនុ



Happy Birthday to
**Her Majesty Queen Mother Norodom
Monineath Sihanouk**



GOLDEN CAMBODIA CENTURY

GC Orussey Market 6月 建設進捗報告

工事の全体工程において、計画通りに進行しており、特に問題もなく順調に作業を進めております。現場スタッフ一同、安全管理を徹底しながら、引き続き工事の完了に向けて努力して参ります。





2024年06月05日

6月5日に「GC Realtyファミリーボンディング」が開催されました。2024年5月の「トップセールス」および「トップニューファイター」が選出され、クメール伝統武術であるユタクン・コム・クメールによるラボカトルのパフォーマンスも披露されました。

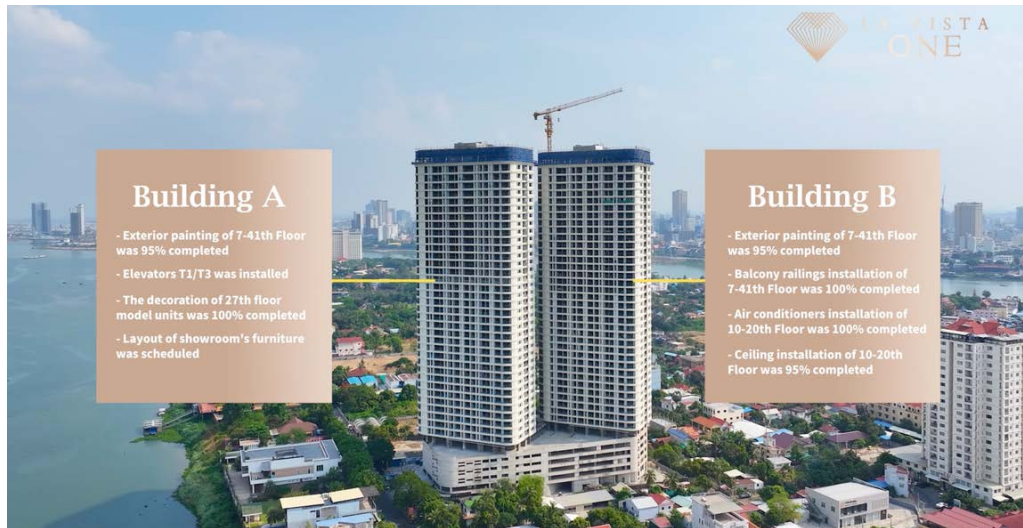






LA VISTA
ONE

La Vista One 6月 建設進捗報告



A棟

- 7～41階の外壁塗装は95%完了しました。
- エレベーターT1/T3の設置が完了しました。
- 27階のモデルユニットの装飾が100%完了しました。
- ショールームの家具の配置が予定通りに進められました。

B棟

- 7～41階の外壁塗装は95%完了しました。
- 7～41階のバルコニーの手すり設置が100%完了しました。
- 10～20階のエアコン設置が100%完了しました。
- 10～20階の天井の設置が95%完了しました。





2024年06月12日

LA VISTA ONEのショールームが完成いたしました。

スタジオタイプ



1LDK



3LDK





CAMBODIA
MY 2ND HOME

Latest Information

2024年06月22日

6月22日、Cambodia My 2nd Home (CM2H)がスポンサーを務める ASEAN-China-India Youth Leadership Summit 2024 (ACIYLS 2024)に関するイベントが開催されました。このサミットの主な目的は、ASEAN（東南アジア諸国連合）、中国、インドの若者たちのリーダーシップ能力を高め、相互理解と協力を促進することです。





CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2024年06月22日

カンボジア独自のSNSアプリ「CoolApp」が登場



出典：[Cambodia now has her own social media app](#)

カンボジアのIT専門家チームが開発した国内初のSNSアプリ「CoolApp」がリリースされました。フン・セン元首相は、CoolAppがTelegramやWhatsAppと同様の機能を備え、チャットやビデオ通話のデータが暗号化されて安全であると述べました。このアプリは、カンボジアを誇れるものです。App StoreやPlay Storeからダウンロードできます。

2024年06月21日

世界銀行、カンボジアの経済成長と回復力支援のため新たな融資を承認



出典：[World Bank approves new financing to support Cambodia's economic growth and resilience](#)

世界銀行は、カンボジアの経済成長と回復力を支援するために2億7500万ドルの低金利融資を承認しました。この資金は、民間部門の競争力強化、財政の安定化、脆弱な家庭への支援を目的としています。特に中小企業の発展、インフラ整備、環境持続性の強化に焦点を当て、COVID-19の影響からの回復を支援します。また、政府の改革努力を後押しし、長期的な持続可能な成長を目指します。

2024年06月21日

エアアジア、クアラルンプールからシアヌークビルまで直行便を運航

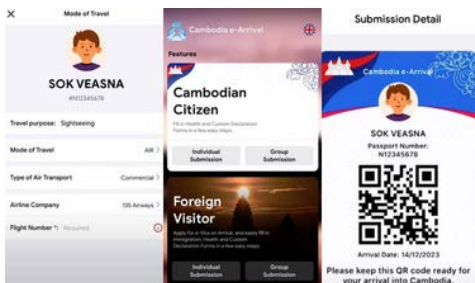


出典：[AirAsia to fly directly from KL to Sihanoukville](#)

エアアジアは7月3日からクアラルンプールとシアヌークビル間の直行便を週3便（水曜、金曜、日曜）で再開します。COVID-19による中断後、経済状況の改善を背景に再開が決定されました。今年1月から5月までにカンボジアは250万人以上の航空旅客を受け入れ、前年同期比22%増加しています。

2024年06月20日

2024年7月1日、カンボジア新入国管理システム開始



出典：Explainer: New Cambodia e-arrival scheme launches on July 1, 2024

カンボジアは2024年7月1日から新たな電子入国管理システム「Cambodia e-Arrival (CeA)」を導入します。このシステムでは、観光客、在外邦人、カンボジア国民は到着の7日前までにオンラインで入国申請を行う必要があります。有効なビザを持っていても、公式モバイルアプリを使用して個人情報を登録しなければなりません。登録手続きにはパスポート情報と写真の提出が含まれ、従来の紙ベースの書類をデジタル化します。また、申請が完了するとQRコードが生成され、これを入国審査で提出します。システムは無料で利用可能で、登録は公式ウェブサイトまたはモバイルアプリを通じて行います。

2024年06月20日

カンボジアへのFDI流入が6年間で484億ドルに達する



出典：FDI inflows hit \$48.4 billion in Cambodia in six years

カンボジアの国家銀行（NBC）によると、2018年から2023年までの間に、カンボジアへの外国直接投資（FDI）は484億ドル（197.8兆リエル）に達しました。主な投資国は中国で、全体の45.6%を占めています。他の主要投資国には、韓国、シンガポール、日本、ベトナムなどが含まれます。投資は金融、製造、不動産、宿泊、農業、エネルギー、建設などの主要セクターに向けられました。新投資法や自由貿易協定が投資誘致の重要な要素とされています。

2024年06月19日

シンガポール大統領、カンボジアの若手人材を経済発展の原動力として評価



出典：Singapore president expresses optimism that Cambodia's young human resource potential is a driving force for development (VIDEO)sector

2024年6月18日から19日にかけてシンガポールを公式訪問したフン・マネット首相が、同国大統領ターマン・シャンムガラトナム氏を表敬訪問しました。会談では、シンガポールとカンボジアの経済、貿易、防衛、教育、人材開発など各分野での良好な関係が称賛されました。シンガポール大統領は特に、カンボジアの若手人材の潜在力と職業訓練の進展を経済、産業、製造業などの各分野で投資を引きつけ、発展を促進する原動力として期待を表明しました。首相はこれに対し、シンガポールの歓迎に感謝し、両国間の協力強化を強調しました。

2024年06月19日

カンボジアで不動産を購入する前に考慮すべき5つのポイント



出典：[Five Things To Consider Before Buying Property in Cambodia](#)

2024年中盤、カンボジアの不動産市場は調整が続き、外国人投資家にとっては依然としてコンドミニアムが主要な資産ですが、最近では現地の買い手も増加しています。2022年には外国人によるコンドミニアム購入が全体の65%を占め、特に1〜2ベッドルームの需要が高まっています。ハードタイトルが推奨され、商業不動産も注目されています。政治的緊張や金利引き下げにも敏感な市場であり、信頼できる開発業者からの購入が重視されています。カンボジアの都市人口は、2024年に3.07%（450万人以上）増加し、2030年までに都市人口は44%に達すると見込まれています。これは2020年からの25%に相当します。

2024年06月18日

カンボジア経済、成長軌道へ 全セクターが迅速に回復



出典：[Cambodia asks members of Japan-Cambodia Parliamentary Cambodia's economy on growth track, all sectors recovering fast, says PM](#)

フン・マネット首相は、6月17日に行われたプノンペンとカンダル州境界におけるツインフライオーバーの起工式で、2024年にカンボジア経済が成長し、2025年にはさらなる成長が期待されると述べました。彼はこれらのインフラが地域の発展を加速する重要な役割を強調しました。COVID-19や世界的経済問題の影響で一時的に低迷した経済も、2023年には5%成長し、今後も成長が期待されています。世界銀行の報告（CEU）「カンボジアの輸出回復と貿易シフト」によれば、カンボジアの成長率は2024年には5.8%となり、2025年にはさらに6.1%、2026年には6.4%に向上する見通しです。

2024年06月17日

南東部バベットへの投資が中国企業中心に拡大、電力不足の懸念も



出典：[Investment in southeast Bavi expands mainly among Chinese companies, raising concerns about power shortages](#)

2023年、カンボジア開発評議会（CDC）が認可した経済特区（SEZ）内の適格投資プロジェクト（QIP）のうち、バベット地区で認可されたのは半数以上の41件で、想定雇用数は合計で3万4,600人超となっています。急速な投資増加により経済効果が期待される一方、人材確保と電力供給のインフラ整備が課題とされています。バベットはベトナム国境に近く、日系企業を中心となって縫製業などに進出しており、日本商工会議所（JBAC）は電力問題をEDCに改善要請しています。

2024年06月17日

カンボジア、4月の収益は5億8百万ドル



出典：Cambodia clocks April revenue of \$508 million

カンボジアの財務省によると、2024年4月、カンボジアは総収入5億8百万ドルを記録しました。この収入は、主に関税、納税、その他の財政収入から得られたものであり、国の経済活動の指標として重要です。特に関税収入は、国の国際貿易活動の健全性を反映しています。この成績は、カンボジアの経済が堅調に推移していることを示しており、持続的な経済成長を支える要因の一つとなっています。今後も財政政策の改善や経済の多様化が進められる中で、カンボジアの経済の安定と発展が期待されています。

2024年06月13日

日本、カンボジアへの支援継続を約束



出典：Japan pledges to continue assistance to Cambodia

カンボジアのヘン・スール労働職業訓練大臣は6月13日月曜日、スイスのジュネーブで宮崎正久労働厚生大臣と会談しました。労働分野における二国間関係をさらに強化する方策について協議し、両国は隣国間の新たな外交関係に基づき、労働と社会保障に関する二国間関係を強化することを誓約しました。昨年、カンボジアと日本は外交関係樹立70周年を祝賀し、両首脳は全面的な戦略的パートナーシップを目指すことで一致しました。労働協力についても詳細に話し合わせ、雇用機会、技術移転、専門知識の共有が両国の経済・社会発展を促進する見通しとなりました。

2024年06月13日

アジア開発銀行、カンボジアとの強固なパートナーシップを再確認



出典：ADB reaffirms strong partnership with Cambodia (VIDEO).

アジア開発銀行（ADB）は、カンボジアとの強固なパートナーシップを再確認しました。ADBは、カンボジアの経済成長と持続可能な開発を支援するため、さまざまな分野でのプロジェクト実施を継続する意向を表明しました。特にインフラ整備や教育、農業、環境保護分野での支援が焦点とされています。ADBは、カンボジアとの協力を通じて地域全体の発展に貢献すると共に、国内の社会経済的不平等を緩和する取り組みを進めています。

2024年06月12日

総保険料、第1四半期で9650万ドルに達する



出典：Insurance gross premium reaches \$96.5M in Q1

カンボジアの保険業界は、2024年第1四半期において、前年同期比9%増の総保険料9650万ドルを記録しました。市場は18社の一般保険業者、14社の生命保険業者、7社のマイクロ保険会社、1社の再保険会社で構成されています。年金保険と物件保険が保険料の大部分を占めています。2023年の保険業界の資産は11億ドルに達し、支払われた保険金は前年比13.6%増の1650万ドルでした。保険業界はカンボジアのGDPに対して年間で1.1%を貢献しています。

2024年06月11日

カンボジアのGFT輸出、20.69%増



出典：Cambodia's GFT exports jump 20.69 percent

カンボジアの衣料品、靴、旅行用品（GFT）の輸出額は、2024年の初めから5か月間で20.69%増加し、国に49億ドルをもたらしました。この好転は、2022年の中頃以来約18か月間にわたる減少に続くものであり、工場の閉鎖や一時停止によって失業した労働者にとって救済となっています。GFTセクターはカンボジア経済にとって重要であり、約100万人の雇用を提供し、2024年1月から5月までのカンボジアの総輸出額の48%を占めています。

2024年06月11日

カンボジア、5ヶ月間で自動車タイヤ輸出が204%増の3億8百万ドルに



出典：Cambodia exports \$308 million worth of car tires in first five months, MoC says

カンボジアの自動車タイヤ輸出は2024年の初めから5月までに204%増の3億8百万ドルに達しました。この成長は、国内の自動車タイヤ工場の増加と国際市場での輸出多様化によるものです。現在、カンボジアには3つの稼働中のタイヤ製造施設があり、さらに数件の投資プロジェクトが承認を待っています。

2024年06月10日

カンボジア、経済目標実現へ多様化とFDI誘致が必要



出典：[Cambodia must diversify, attract FDI to realize economic goals](#)

カンボジアは、後発開発途上国（LDC）からの脱却に備え、経済の多様化と外国直接投資（FDI）の誘致を強化する必要があります。Covid-19パンデミック前には顕著な経済成長を遂げていましたが、2021年に経済が回復し始めました。国際通貨基金（IMF）は今年の成長率を6%、来年の成長率を6.1%と予測しています。カンボジアのGDP成長率はフィリピンに次いで高い6.2%となっています。

2024年06月07日

世界銀行、カンボジアの2024年成長率を5.8%と予測



出典：[WB predicts Kingdom to grow at 5.8% in 2024](#)

世界銀行はカンボジアの経済成長率を2024年に5.8%、2025年に6.1%、2026年に6.4%と予測しています。サービス業と輸出の回復が成長を支えるとされています。報告書では、マクロ経済と金融の安定を維持し、競争力を強化し、ビジネス環境を改善することで成長を持続できると述べています。また、観光業の回復や農業製品の輸出も顕著な要因となっています。

2024年06月07日

カンポット多目的港が開港、新たな国際貿易の玄関口に



出典：[Kampot Multipurpose Port inaugurated, opens new int'l gateway to trade](#)

6月7日にカンポット多目的港が正式に開港し、カンボジアの物流と海運セクターにおいて重要なマイルストーンとなりました。フン・マネット首相は、この港がシアヌークビル港やプノンペン港と補完し合い、アジア太平洋諸国への海運を促進すると強調しました。さらに、沿岸州間の港サービスと貨物輸送の改善を求めました。

2024年06月06日

カンボットとケップ州ではカジノの開設を禁止



出典：PM: [Kampot and Kep provinces are not allowed to open casinos](#)

カンボジアのフン・マネット首相は、カンボット州とケップ州ではカジノライセンスの発行を認めないと述べました。カジノを開設したい場合はカンボジア国境で申請する必要があります。これまでのカジノは国境付近のみで許可されており、特にプレックチャック近郊での投資が推奨されます。観光促進のため、ホテルのライセンスは許可されますが、カジノのライセンスは認められません。

2024年06月06日

カンボジア、RCEP諸国との貿易が14.2%増加



出典：Cambodia's trade with fellow RCEP members up 14.2 pct in first 5 months

2024年前半の5ヶ月間で、カンボジアの地域包括的経済連携協定（RCEP）加盟国との貿易額は前年同期比14.2%増の141億7千万ドルに達し、全貿易量の65.6%を占めました。主要貿易相手国は中国、ベトナム、タイ、日本、シンガポールです。RCEPはカンボジアの貿易成長の推進力として機能しており、マクロ経済と金融の安定を維持し、競争力を強化することで、さらなる経済成長が期待されています。

2024年06月04日

労働生産性向上と投資誘致で協力、労働省と米商工会議所が合意



出典：Heng Sour and President of AmCham Cambodia [vow to work together to increase labour productivity and attract more investment](#)

6月3日、カンボジアのヘン・スール労働職業訓練大臣と米商工会議所（AmCham）会長のケイシー・バーネットが会談し、労働生産性向上と米国からの投資誘致について議論しました。労働省は失業者と労働者に職業技術訓練を提供し、市場ニーズに応じたスキル開発を推進することで一致しました。

2024年05月29日

ワールドリン商工会議所、カンボジアでの投資可能性を模索



出典：[World Lin Chamber of Commerce seeks investment potential in Cambodia](#)

ワールドリン商工会議所（WLCC）は、カンボジアの建設、不動産、農業、グリーンエネルギー、健康分野への投資を模索しています。WLCCの会長は、急速な発展、高い経済成長、平和、政治的安定が投資に有利な環境を提供すると評価しました。11月にはカンボジアで会議を開催し、約1,000～2,000人のWLCCメンバーが参加予定。フン・マネット首相はこの投資関心を歓迎し、法や政策で支援を約束しました。

2024年05月28日

TSUTAYA BOOKSTORE、カンボジア進出へ - ULSとフランチャイズ契約締結

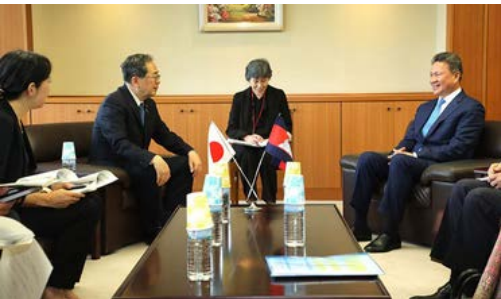


出典：[ULS to introduce TSUTAYA BOOKSTORE \(JP\) to Cambodia with Cambodia](#)

5月9日、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と双日株式会社（双日）の合併会社であるTSUTAYA BOOKS Malaysia（TBM）は、カンボジアでデベロッパー事業などを展開するUrban Living Solutions（ULS）と、2034年までにカンボジアに「TSUTAYA BOOKSTORE」を6店舗出店するフランチャイズ契約を締結しました。本契約締結に伴い、2025年にカンボジアの首都プノンペンに、カンボジア1号店目の「TSUTAYA BOOKSTORE」を出店する予定です。

2024年05月23日

カンボジア、日本にシハヌークビル港アップグレードの実施の加速を要請



出典：[Cambodia urges Japan to speed up the implementation of the Sihanoukville Port upgrade project to boost economic growth](#)

カンボジアのスン・チャントール副首相は、日本側にシアヌークビル港のアップグレードプロジェクトの実施を加速し、2050年までに港を地域港および物流センターにするための調査を推進するよう要請しました。日本側は、計画通りにプロジェクトを完了することにコミットメントを表明し、日本の支援による建設現場の成功例を挙げました。

2024年05月23日

カンボジアの電子決済が急増



カンボジア国立銀行の金融安定レビュー報告書によると、カンボジアでは2023年に電子決済が急増し、電子ウォレットの利用者数が1970万人に達しました。これは、デジタル金融サービスへの需要の高まりと、技術に精通した人口増加が要因とされています。電子決済の取引額は1117億ドル、取引数は8億1100万件を記録しました。

出典：[Cambodia sees surge in e-wallets](#)

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

